

# 荒砥高で「デリバリー型学食」

## 1食300円 お得にぱくっ

白鷹

弁当を用意する家庭の負担軽減を図ろう

と、白鷹町の荒砥高（地主佳子校長、60人）で20日、学校に弁当を届ける「デリバリー型学食」がスタートした。週2日の事前予約制。生徒たちは唐揚げや肉団子などをおいしそうに頬張っていた。

町による同校の活性化事業の一つ。メニューは校内に掲示され、金曜までに翌週分の希望をまとめ、発注する。受注、配達は町内のパレス松風が担い、毎週水、金曜に事務室前に届ける。生徒は300円10枚つづりのチケットを購入しておき、1食につき1枚と交換で弁当を持っていく。通常販売価格は750円で、差額は町が負担する仕組みとなっている。

初日は生徒9人から注文があり、昼休みになると続々と事務室の前へ。総合学科2年の小林愛唯さん(17)は「300円で食べられ

弁当が届き笑顔の生徒たち

白鷹町・荒砥高

### 入学者確保へ、差額は町が負担

るのはお得」、青木暹奈さん(16)は「毎日お弁当を作ってくれるお

母さんに、たまには楽しんでもらいたい」と話していた。

荒砥高は近年定員割れが続いており、存続に必要な定員の2分の1の確保が課題となっている。地域連携協議会が策定した同校魅力化計画に基づき、入学者確保の取り組みが進められている。

(上妻大晃)

